

公益社団法人砥粒加工学会北陸信越地区部会
『2012 年度研究・開発成果発表会』 報告書

修士 1 年 野村孟嗣

7 月 6 日(金)に金沢工業大学やつかほりサーチキャンパス FMT 研究所で行われた、公益社団法人砥粒加工学会北陸信越地区部会『2012 年度研究・開発成果発表会』に参加させていただきました。この度は、研究・開発成果発表会ということで様々な加工についての研究・開発のお話を聞くことができました。

まず金沢工業大学やつかほりサーチキャンパスに到着したとき、その敷地の広大さと建物の立派さに驚かされました。講演会場は 2 部屋に分かれており、私は自分の発表のある部屋で聴講していましたが、もう一方の部屋も合わせると、金沢工業大学、金沢大学、富山大学、富山県立大学、富山高専、長岡技術科学大学、日本大学、福井工業大学など、多くの大学の方がいらっしゃいました。さらには、有限会社ファインフォーミング、中村留精密工業株式会社といった企業の方も参加されていました。

今回の講演を通じて、私がこれまで知らなかった技術や加工法をたくさん知ることができました。またそれぞれ様々な問題点があり、いろいろなアプローチの仕方での問題解決に挑んでおり、勉強になるとともに自らの研究意欲の大きな刺激になりました。

私は「電圧印加法によって作製した金属添加ガラス中の金属微粒子の存在形態に関する研究」という題目で発表させていただきました。学会での初めての発表ということもあり、非常に緊張しましたが、どうにか発表をこなすことができました。しかし、もう少しわかりやすい発表にできたのではないかという反省も残りました。続く質疑応答では、先生方から励ましの言葉や研究についてのアドバイスをいただくことができました。これからは生かしていきたいと思います。私の回答における反省としては、やや言葉が詰まってしまうこともあったので、今後はスムーズな回答ができるように精進していきたいと思います。また、金沢工業大学の三田村氏の発表を聞いていて、私の発表における問題点がはっきりしました。三田村氏の発表姿勢は非常に落ち着いており、聴講者に対してわかりやすい説明を心がけているようでした。発表の仕方についてとても参考になりましたし、私もいつかこのような発表ができるようになりたいと感じました。

最後に、本学会の参加の機会を与えてくださるとともに、準備において多くのご指導を頂いた森田先生、比田井先生、松坂先生、斉藤さんに厚く御礼申し上げます。また、準備に協力して頂いた梅氏、沼口氏、溝渕氏、増田氏、米元氏にも感謝の意を示したいと思います。ありがとうございました。



講演会場